

千葉県警察本部新庁舎建設等事業の客観的評価

千葉県警察本部新庁舎建設等事業の事業者の選定を行いましたので、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。)第8条の規定により、事業者選定における客観的評価の結果をここに公表します。

平成17年7月22日

千葉県知事 堂本暁子

1 選定事業者

日立製作所グループ

代表企業：株式会社日立製作所

構成員：鹿島建設株式会社

株式会社竹中工務店

株式会社ハリマビシステム

株式会社日立ビルシステム

協力企業：株式会社日京クリエイト

2 事業者選定経緯

PFI法及び入札説明書に基づき、千葉県警察本部新庁舎建設等事業者選定委員会において優秀提案者を選定し、その結果を踏まえ、財政負担効果を確認し、上記グループを事業者として選定した。

なお、審査の詳細は、別添「千葉県警察本部新庁舎建設等事業提案審査報告書」のとおりである。

3 千葉県が直接事業を実施する場合とPFI事業で実施する場合の財政負担額の評価

千葉県が直接事業を実施する場合とPFI事業で実施する場合の財政負担額を現在価値に換算し、比較した結果、PFI事業による財政負担の縮減率は約39%となる。

千葉県警察本部新庁舎建設等事業に関する提案審査の結果を次のとおり
報告します。

平成 17 年 7 月 8 日

千葉県警察本部新庁舎建設等事業者選定委員会

< 委 員 長 >	山内 弘隆	一橋大学大学院商学研究科 教授
< 副委員長 >	中村 玲子	政策研究大学院大学 教授
< 委 員 >	佐藤 長英	あさひ・狛法律事務所 弁護士
	服部 岑生	千葉大学大学院 教授
	曾根 陽子	日本大学生産工学部 教授
	小澤 慎治	慶應義塾大学理工学部 教授
	泉 隆	日本大学理工学部 教授
	岡 静	千葉県警察本部総務部長（第 4 回委員会まで）
	田中 榮作	千葉県警察本部総務部長（第 5 回委員会から）
	松原 延治	千葉県総務部理事（第 5 回委員会まで）
	岡本 正和	千葉県総務部次長（第 6 回委員会から）

千葉県警察本部新庁舎建設等事業

提案審査報告書

平成17年7月

千葉県警察本部新庁舎建設等事業者選定委員会

目 次

第 1 事業概要	1
1 事業内容に関する事項	1
(1) 事業名称	1
(2) 公共施設等の管理者の名称	1
(3) 事業場所	1
(4) 事業内容	1
(5) 事業方式	2
(6) 事業期間	2
(7) 事業の実施	2
第 2 経緯	3
第 3 民間事業者選定方法	4
1 民間事業者選定方式	4
2 民間事業者選定方法	4
第 4 第一次審査	5
1 入札参加資格審査	5
2 入札参加資格確認グループ	5
第 5 VE 審査	6
第 6 第二次審査	7
1 入札価格の確認	7
2 提案書の基礎審査	7
3 提案書の加点審査	7
(1) 入札価格点	7
(2) 加点審査点	7
(3) 総合評価	10
4 優秀提案者の選定	10
第 7 審査講評	11
(1) 総評	11
(2) 個別講評	12

第1 事業概要

1 事業内容に関する事項

(1) 事業名称

千葉県警察本部新庁舎建設等事業

(2) 公共施設等の管理者の名称

千葉県知事 堂本暁子

(3) 事業場所

千葉市中央区長洲 1-10-1 他

(4) 事業内容

ア 新庁舎に関する業務

(ア) 施設の整備に関する業務

- a. VE (Value Engineering) 提案に伴う設計変更業務
- b. 解体撤去業務 (千葉県庁南庁舎の解体・撤去)
- c. 建設工事業務
- d. 工事監理業務
- e. 広報センター整備業務
- f. 備品整備業務

(イ) 施設の維持管理に関する業務

- a. 建物保守管理業務
- b. 設備保守管理業務
- c. 外構維持管理業務
- d. 清掃業務
- e. 植栽維持管理業務

(ウ) 施設の運営に関する業務

- a. 警備業務 (庁舎周辺の警備等)
- b. 受付案内業務 (来庁者の受付案内等)
- c. 広報センター運営業務 (広報センターの企画・立案、広報センターの受付案内、通信指令室及び交通管制センターの見学者案内を含む運営)
- d. 福利厚生諸室運営業務 (10 階に予定している食堂・喫茶室、売店・クリーニング店の運営)
- e. 喫茶店運営業務 (1 階に予定している喫茶店の運営)

イ 特殊機器に関する業務

特殊機器とは国及び県が従来方式で整備するシステム以外のシステムを言う。特殊機器に関する業務は下記に示すとおりである。

(ア) 特殊機器の整備に関する業務

- a. 特殊機器の設計業務
- b. 特殊機器の製作、設置業務及び関連業務（県下の各警察署等への設置及び関連業務を含む）
- c. 本事業で整備する特殊機器とは以下のシステムを示す。
 - ・通信指令システム（警察本部庁舎及び県下の各警察署等を対象）
 - ・警備部会議室システム（警察本部庁舎のみを対象）
 - ・刑事部会議室システム（警察本部庁舎のみを対象）

(イ) 特殊機器の保守管理に関する業務

特殊機器の保守管理業務（警察本部庁舎及び県下の各警察署に整備した特殊機器の保守・修繕・更新その他一切の保守管理業務を含む）

ウ その他

新庁舎に関する業務及び特殊機器に関する業務における引渡し業務

(5) 事業方式

本事業は、PFI 法に基づき実施するものとし、SPC は県が所有権を有する土地に存在する現千葉県庁南庁舎を解体し、新たに施設等を建設した後、県に施設の所有権を移転し、事業期間中に係る維持管理・運営業務を実施するいわゆる BTO（Build Transfer and Operate）方式とする。

(6) 事業期間

本事業の事業期間は、事業契約締結日から平成 41 年 3 月 31 までの予定とする。ただし、広報センター運営業務、特殊機器の保守管理業務については、平成 31 年 3 月 31 日までの予定とする。

(7) 事業の実施

落札者は、本事業を実施するため、SPC を商法（明治 32 年法律第 48 号）に定める株式会社の形態で設立するものとする。県は、落札者と基本協定を締結し、当該協定に規定した事項に基づき、落札者が設立した SPC と事業契約を締結する。

第2 経緯

民間事業者選定までの主な経緯は以下のとおりである。

内 容	日 程
第1回事業者選定委員会	平成16年6月4日
第2回事業者選定委員会	平成16年7月16日
実施方針等の公表	平成16年7月29日
実施方針等に関する説明会及び現地見学会	平成16年8月6日
実施方針等に関する質問・意見の受付	平成16年8月2日～8月11日
実施方針等に関する質問・意見に対する回答・公表	平成16年8月31日
第3回事業者選定委員会	平成16年9月6日
特定事業の選定・公表	平成16年9月17日
第1回特殊機器分科会	平成16年10月2日
第4回事業者選定委員会	平成16年10月15日
入札公告	平成16年10月26日
入札説明会	平成16年11月2日
入札説明書等に関する質問受付	平成16年11月4日～11月12日
入札説明書等に関する質問に対する回答・公表	平成16年11月26日
参加表明書資格確認申請書の受付	平成16年12月1日～12月3日
資格審査結果の通知	平成16年12月10日
要求水準書(通信指令システム編・警備部会議室システム編・刑事部会議室システム編)の配付	平成16年12月15日～12月17日
実施設計図書有償頒布	平成16年12月17日
VE提案・実施設計図書・要求水準書(通信指令システム編・警備部会議室システム編・刑事部会議室システム編)に関する質問受付	平成17年1月11日～1月12日
VE提案・実施設計図書に関する質問に対する回答	平成17年1月25日
要求水準書(通信指令システム編・警備部会議室システム編・刑事部会議室システム編)に関する質問に対する回答	平成17年2月10日
VE提案の受付	平成17年2月17日～2月18日
第1回VE分科会	平成17年3月14日
第5回事業者選定委員会	平成17年3月18日
VE審査結果の通知	平成17年3月25日
入札書類の受付・開札	平成17年4月27日
第2回特殊機器分科会	平成17年5月26日
第2回VE分科会	平成17年5月27日
第6回事業者選定委員会	平成17年6月10日
第3回特殊機器分科会	平成17年7月2日
第7回事業者選定委員会	平成17年7月8日

第3 民間事業者選定方法

1 民間事業者選定方式

本事業を実施する民間事業者は、専門的な知識やノウハウ（建設技術力、維持管理・運営能力、事業経営能力、資金調達能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、価格及びその他の条件（性能、機能、技術等）によって落札者を決定する総合評価一般競争入札に基づき実施した。

2 民間事業者選定方法

民間事業者の選定方法は、二段階の審査により実施し、第一次審査として参加資格の確認審査、第二次審査として提案内容審査を行った。

提案内容審査に当たっては、県に設置した学識経験者及び県職員で構成する「千葉県警察本部新庁舎建設等事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において、入札参加者から提出された入札提出書類について、入札公告時に公表した落札者決定基準に基づき審査を行い、優秀提案者を選定した。

第4 第一次審査

1 入札参加資格審査

平成 16 年 12 月 3 日までに 4 グループの応募があり、各グループから提出された入札資格確認申請書により、入札説明書に示す応募者の備えるべき入札参加資格要件を満たしていることを審査した結果、いずれのグループも入札参加資格要件を満たしており、平成 16 年 12 月 10 日に資格審査結果を通知した。

入札参加資格が確認されたグループは 2 のとおりである。

また、各グループに対し、平成 16 年 12 月 15 日から 17 日に要求水準書(通信指令システム編・警備部会議室システム編・刑事部会議室システム編)の配付、平成 16 年 12 月 17 日に実施設計図書の有償頒布を行った。

2 入札参加資格確認グループ

(グループ名、構成員及び協力企業は、50 音順)

グループ名	代表企業	代表企業以外の構成員	協力企業
NTT データグループ	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	新日本建設株式会社 大成建設株式会社 大成サービス株式会社 東京美装興業株式会社 戸田建設株式会社 日本電気株式会社 三菱電機株式会社 株式会社レバスト	大成設備株式会社 東日本電信電話株式会社 (株式会社関電工)
大林組グループ	株式会社大林組	株式会社グリーンハウス 日本管財株式会社	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社 セコム株式会社
清水・富士通グループ	清水建設株式会社	第一建築サービス株式会社 株式会社東急コミュニティー 富士通株式会社	
日立製作所グループ	株式会社日立製作所	鹿島建設株式会社 株式会社竹中工務店 株式会社ハリマビステム 株式会社日立ビルシステム	株式会社日京クリエイト

平成 17 年 1 月 28 日に、NTT データグループより構成員等の変更届が提出され、県はこれを了承し、株式会社関電工がグループから外れることとなった。

第5 VE 審査

第一次審査合格者のみを対象に VE 提案を求め、平成 17 年 2 月 17 日から 18 日に提出された合計 595 件の VE 提案について、選定委員会において VE 提案要領に基づき VE 提案の採否を行った結果、180 件（採択率 30%）の提案を採択した。

工種別 VE 提案・採択数

上段：提案、下段：採択

グループ	建築 意匠	構造	電気	衛生	空調	昇降 機	特殊 機器	合計	採択率
NTT データ グループ	104	22	67	15	14	9	0	231	26%
	28	6	18	1	8	0	0	61	
大林組 グループ	51	22	15	7	11	0	0	106	31%
	12	6	6	3	6	0	0	33	
清水・富士通 グループ	36	31	6	8	16	0	0	97	32%
	9	8	2	4	8	0	0	31	
日立製作所 グループ	71	38	13	10	19	0	10	161	34%
	18	12	4	6	6	0	9	55	

第6 第二次審査

1 入札価格の確認

平成 17 年 4 月 27 日に入札書類の受付・開札を行った。その結果、4 グループとも全て、入札価格が入札予定価格の範囲内であることを確認した。

2 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、落札者決定基準に示す「要求水準の必須項目」を満たしていることを確認した。その結果、4 グループともすべて要求水準の必須項目を満たしていると判断した。

3 提案書の加点審査

要求水準の必須項目を満たしていることが確認された者の提案書について、加点審査を行った。提案書類に記載された内容を、落札者決定基準に示す加点審査によって評価し点数化した。並びに、入札価格についても点数化し、その合計点数をもって提案における得点とし、総合評価点とした。

$$\text{総合評価} = \text{入札価格点} + \text{加点審査点}$$

(1) 入札価格点

落札者決定基準に基づき、入札価格から算出した入札価格点は以下のとおりである。

グループ名	NTT データ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
入札価格	28,055,866,993 円	27,081,986,000 円	29,572,654,919 円	30,151,027,544 円
入札価格点	675.70 点	700.00 点	641.04 点	628.75 点

(2) 加点審査点

落札者決定基準に基づき、選定委員会において審査を行った加点審査点は次のとおりである。

評価項目	配点	NTTデータ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
1. 事業計画に関する項目	60.00	30.25	31.25	33.00	40.25
事業実施体制	12.00	3.25	5.50	6.25	9.75
事業を安定的に実施できる事業実施体制が提案されているか	7.00	1.50	4.00	3.50	5.75
各業務を実施する事業者間において事業安定性が図られる合理的なリスク分担が提案されているか	5.00	1.75	1.50	2.75	4.00
リスク管理	12.00	7.25	8.50	7.75	7.00
予期せぬ事態発生に対し有効な対応策が提案されているか	6.00	3.50	5.00	5.00	3.50
事業者の責による破綻時の対応が取れているか	6.00	3.75	3.50	2.75	3.50
資金調達計画	12.00	8.75	7.75	8.50	9.25
事業を安定的に実施できる資金調達方法となっているか	6.00	3.75	3.75	4.50	4.25
資金調達条件は適切で妥当であるか	6.00	5.00	4.00	4.00	5.00
キャッシュフロー計画	12.00	3.50	5.00	5.25	7.50
キャッシュフロー計画が適正に行われているか	6.00	1.50	1.50	2.50	2.50
資金不足時の対応策は講じられているか	6.00	2.00	3.50	2.75	5.00
地域経済への貢献	12.00	7.50	4.50	5.25	6.75
事業の実施に伴い、地域経済の活性化に貢献する提案がなされているか	12.00	7.50	4.50	5.25	6.75

評価項目	配点	NTTデータ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
2. 施設整備に関する項目	30.00	20.88	17.01	16.01	23.38
建築・設備の性能(VE提案によりLCCの上昇を伴わない提案に限る)	18.00	13.75	10.00	10.00	15.25
施設の機能性の向上に対する提案がされているか	4.00	4.00	2.00	2.00	4.00
施設の利便性の向上に対する提案がされているか	4.00	3.00	2.00	3.00	3.00
建築・設備の耐久性を高める提案がされているか	4.00	3.00	3.00	2.00	3.00
防災性能・安全性能の向上に対する提案がされているか	3.00	1.50	1.50	0.75	3.00
環境負荷低減やリサイクルに対する提案がされているか	3.00	2.25	1.50	2.25	2.25
施工品質、工期	6.00	4.88	4.63	3.13	5.00
施工品質の向上に対する提案がなされているか	3.00	1.88	1.63	1.63	2.75
建設工期遵守に対する提案がなされているか	3.00	3.00	3.00	1.50	2.25
周辺・安全への配慮	6.00	2.25	2.38	2.88	3.13
周辺地域への配慮が十分になされているか	4.00	1.50	1.63	2.13	2.38
安全対策への効果的な提案がなされているか	2.00	0.75	0.75	0.75	0.75

評価項目	配点	NTTデータ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
3. 維持管理に関する項目	60.00	29.88	29.50	33.00	41.38
維持管理計画	12.00	6.50	8.00	8.00	10.00
総合的管理体制によって、施設全体を統括した効率の良い維持管理計画が図られているか	6.00	4.50	4.75	4.75	5.50
継続的業務改善等で質的向上が図られているか	6.00	2.00	3.25	3.25	4.50
光熱水費の削減	12.00	4.75	5.75	7.50	7.75
光熱水費の削減への効果的な提案がなされているか	12.00	4.75	5.75	7.50	7.75
環境負荷への配慮	6.00	4.13	2.75	3.75	4.88
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	6.00	4.13	2.75	3.75	4.88
緊急時の対応	12.00	5.75	4.25	5.25	8.25
突発的事故、故障等によりサービスが中断された際、回復が速やかに行われるための効果的な提案がなされているか	6.00	3.25	2.25	2.50	5.00
突発的事故、故障等の状況を的確に把握でき、速やかに対応がとれるような効果的な管理体制・システムが出来ているか	6.00	2.50	2.00	2.75	3.25
セキュリティ	6.00	3.75	2.75	3.00	4.50
警察業務上の情報漏えい等、高度なセキュリティを保つような提案がなされているか	6.00	3.75	2.75	3.00	4.50
修繕計画	12.00	5.00	6.00	5.50	6.00
事業期間中及び事業期間終了後1年以内に大規模修繕が発生しないように業務を実施する提案がなされているか	6.00	3.50	4.50	4.00	4.50
予防保全を基本とし、劣化等による危険・障害の未然防止がされるよう提案がなされているか	6.00	1.50	1.50	1.50	1.50

評価項目	配点	NTTデータ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
4. 運営に関する項目	30.00	16.88	19.13	9.76	18.38
運営計画	10.00	6.25	7.00	4.00	6.00
県との連携体制、非常時の対応等に係る業務計画に対する具体的な提案がなされているか	2.00	1.00	1.00	0.75	1.50
各運営業務等の連携により効率化を図る具体的な提案がなされているか	5.00	3.75	3.75	2.50	3.75
喫茶店(1階)は警察本部の付帯施設にふさわしく、建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	3.00	1.50	2.25	0.75	0.75
施設利用	6.00	3.63	3.13	2.26	4.88
福利厚生諸室、喫茶店等、利用者のニーズに対応した提案がなされているか	4.00	2.75	2.75	1.63	3.63
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	2.00	0.88	0.38	0.63	1.25
広報センター	14.00	7.00	9.00	3.50	7.50
県民に対する警察への理解と協力の向上に役立つ整備・運営計画が提案がなされているか	9.00	2.50	5.25	1.00	4.50
利用者の安全対策やセキュリティへの具体的な提案がなされているか	2.00	1.50	1.50	1.00	1.50
建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	3.00	3.00	2.25	1.50	1.50

評価項目	配点	NTTデータ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
5. 特殊機器に関する項目	120.00	63.95	36.60	57.57	94.19
システム構築	18.00	11.00	6.75	9.50	17.00
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの各システム構築の目的・要件・スケジュール等を的確に把握し、安定なシステムを確実に構築する体制およびプロセス、ユーザ教育並びに発注者が提供する機密情報を保護するための手法等に関して有効な提案がなされているか。	18.00	11.00	6.75	9.50	17.00
通信指令システム	45.00	22.31	9.06	22.16	36.79
通信指令業務の効率性・運用性、システムの信頼性・運用形態の変更に 対応できる柔軟性・拡張性・保守性・保守管理性・経済性、旧システムから の移行性、などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、通信指 令システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか。	15.00	6.75	1.75	7.75	13.50
要求水準書(通信指令システム編)に示された各要求機能の実現に関し、 具体的な検討を行い有効な提案がなされているか。	15.00	8.03	4.45	6.73	12.20
通信指令システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提 案がなされているか。	15.00	7.53	2.86	7.68	11.09
警備部会議室システム	17.00	8.81	4.59	8.08	10.99
警備部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守 性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘 案し、警備部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされ ているか。	5.00	3.44	1.75	2.75	3.94
要求水準書(警備部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に 関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか。	6.00	2.96	2.00	3.18	3.86
警備部会議室システムを構成する各サブシステムの性能について、有効 な提案がなされているか。	6.00	2.41	0.84	2.15	3.19
刑事部会議室システム	6.00	3.58	1.45	3.83	4.16
刑事部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守 性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総 合的に勘案し、刑事部会議室システム構成の最適化に関する有効な 提案がなされているか。	2.00	1.30	0.55	1.50	1.50
要求水準書(刑事部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に 関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか。	2.00	1.00	0.75	1.15	1.18
刑事部会議室システムを構成する各機器の性能について、有効な提案が なされているか。	2.00	1.28	0.15	1.18	1.48
保守管理	16.00	5.75	5.25	5.00	11.75
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの業 務特性に適応した迅速かつ的確な保守対応について、有効な提案がなさ れているか。	8.00	5.75	3.25	3.00	6.75
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの安 定運用に必要な設備改修について、経済性等を考慮した有効な提案が なされているか。	8.00	0.00	2.00	2.00	5.00
セキュリティ	12.00	9.50	9.50	7.50	9.00
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムとして 最適な情報セキュリティ保護方法に関して有効な提案がなされているか。	12.00	9.50	9.50	7.50	9.00
その他	6.00	3.00	0.00	1.50	4.50
その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室シス テムの構築に関して有用な提案がなされているか。	6.00	3.00	0.00	1.50	4.50

(3) 総合評価

入札価格点と加点審査点を合計した総合評価は以下のとおりである。

グループ名	NTT データ グループ	大林組 グループ	清水・富士通 グループ	日立製作所 グループ
入札価格点	675.70 点	700.00 点	641.04 点	628.75 点
加点審査点	161.84 点	133.49 点	149.34 点	217.58 点
合計	837.54 点	833.49 点	790.38 点	846.33 点

4 優秀提案者の選定

選定委員会は、加点審査における総合評価点の最も高い日立製作所グループを優秀提案者として選定した。

第7 審査講評

(1) 総評

本事業は、警察本部として初の PFI 事業であること、実施設計完了済みであること、大規模な特殊機器システムの整備・保守を含むこと等の特徴を持ち、大規模かつ複雑な事業である。

審査過程においても VE(Value Engineering)提案を受付け、ライフサイクルコストの縮減、施設本体の価値の向上、提供するサービス水準の向上を求めた。4 グループ全てから、建築意匠、構造から各種設備に関するものまで幅広い分野にわたり、様々な提案が寄せられた。採用に至らなかった理由として最も多いものは機能、性能、品質が低下するものであり、警察本部庁舎という耐用年数が長期に及ぶ施設であることから、長期的に見ると耐用年数の面で劣る、将来の拡張性に劣るなどの提案については不採用とした。

入札価格点は、最高得点と最低得点との差が 71.25 点とグループ間による得点差が大きかった。

加点審査点は、事業計画に関する項目、施設整備に関する項目、維持管理に関する項目、運営に関する項目、特殊機器に関する項目の 5 項目について、各グループの提案内容を創意工夫、提案の具体性などの視点から評価を行った。各項目の最高得点と最低得点との差は、事業計画に関する項目で 10.00 点、施設整備に関する項目で 7.37 点、維持管理に関する項目で 11.88 点、運営に関する項目で 9.37 点、特殊機器に関する項目で 57.59 点となり、特に特殊機器に関する項目で大きな得点差となった。これは、特殊機器に関する項目は、各グループの創意工夫が発揮されやすい分野であり、各グループから様々な提案がなされた結果である。

これらを基に、入札価格点と加点審査点とを総合的に評価した結果、加点審査点で最高点をとったグループが総合評価点でも最高得点を獲得し、優秀提案者として選定される結果となった。

最後に、各グループの皆様方に対し、限られた期間で、複雑多岐にわたる事業内容を、良く理解、検討し、提案として明瞭かつ簡潔にまとめた、その熱意と努力に多大なる敬意を払うとともに、心より感謝申し上げます。

(2) 個別講評

ア NTT データグループ

評価項目	評価内容
1. 事業計画に関する項目	
事業実施体制	
事業を安定的に実施できる事業実施体制が提案されているか	・特殊機器を含む業務において複数の企業が担当することで安定的な事業の実施が期待できるが、各業務内の企業間の分担や代表企業とマネジメント補助企業の関係などが明示されないなど事業実施体制が不明確であるため低評価となった。
各業務を実施する事業者間において事業安定性が図られる合理的なリスク分担が提案されているか	・特殊機器担当企業の SPC の出資比率が低いことや、代表企業の劣後ローンにおける拠出割合が低い理由が明示されないなど、合理的なリスク分担が確認できなかったため、低評価となった。
リスク管理	
予期せぬ事態発生に対し有効な対応策が提案されているか	・サービス対価の減額に対してパススルーが提案され、高く評価できる。 ・要求水準以上の充実した保険内容が提案され、非常に高く評価できる。
事業者の責による破綻時の対応が取れているか	・運営破綻時には株式の譲渡制限や残存構成員の優先買取等が提案され、高く評価できる。 ・株式の配当制限など充実した内部留保の提案がされ、非常に高く評価できる。 ・各業務を複数の企業で相互にバックアップするため、担当企業の破綻に強い提案がされ、評価できる。
資金調達計画	
事業を安定的に実施できる資金調達方法となっているか	・事業を安定的に実施できる資金調達計画が提案され、高く評価できる。 ・金融機関から融資関心表明書を得て提案され、評価できる。
資金調達条件は適切で妥当であるか	・付属文書により融資金融機関との間で融資条件が細かく検討して提案され、非常に高く評価できる。 ・多くの PFI の実績を有する金融機関からの融資であり、非常に高く評価できる。
キャッシュフロー計画	
キャッシュフロー計画は適正に行われているか	・LLCR、DSCR 等の金融指標が一定の水準で提案され、高く評価できる。
資金不足時の対応策は講じられているか	・県からの支払い遅延時に SPC が金融機関への返済猶予期間が提案され、非常に高く評価できる。
地域経済への貢献	
事業の実施に伴い、地域経済の活性化に貢献する提案がなされているか	・県内金融機関がリードアレンジャーとなり、県内企業が SPC の構成員になるなど活用がされる提案があり、非常に高く評価できる。 ・地元住民の雇用や地元からの材料等の調達計画が提案され、評価できる。

評価項目	評価内容
2. 施設整備に関する項目	
建築・設備の性能（VE 提案によりライフサイクルコストの上昇を伴わない提案に限る）	
施設の機能性の向上に対する提案がされているか	・特に、広報センターの拡張性・更新性の向上に係る提案については、実施設計のコンセプトである「拡張性、更新性を重視した庁舎」にも合致し、非常に高く評価できる。
施設の利便性の向上に対する提案がされているか	・特に、エントランスロビーにおけるユニバーサルデザインの考え方を尊重した提案については、実施設計コンセプトである「高齢者・身体障害者に配慮した庁舎」にも合致し、高く評価できる。
建築・設備の耐久性を高める提案がされているか	・海岸に近いという立地特性を考慮し、設備機器等に塩害対策を施したものを採用する提案などが出されており、高く評価できる。
防災性能・安全性能の向上に対する提案がされているか	・屋上メンテナンスデッキ及びヘリポートへ至る経路の防滑性を高める提案などは、評価できる。
環境負荷低減やリサイクルに対する提案がされているか	・特に、照明器具の見直しによる具体的な電気使用量削減が示されており、高く評価できる。
施工品質、工期	
施工品質の向上に対する提案がなされているか	・ISO9001 に基づく品質管理が提案されており評価できる。 ・新庁舎の特殊構造・工法に対応した管理技術者の配置が提案されており評価できる。
建設工期遵守に対する提案がなされているか	・許認可の取得について十分な期間が考慮されており、特に電波伝搬路協議についての具体的に記述があり非常に高く評価できる。
周辺・安全への配慮	
周辺地域への配慮が十分になされているか	・特に、工事進捗状況の千葉県ホームページ掲載などは評価できる。
安全対策への効果的な提案がなされているか	・一般的なものではあるが、効果が期待できる多くの提案がなされており評価できる。

評価項目	評価内容
3. 維持管理に関する項目	
維持管理計画	
総合的管理体制によって、施設全体を統括した効率の良い維持管理計画が図られているか	・総括責任者の常駐による一元管理により、業務の連絡調整など警察業務の効率化が期待できる体制、SPC 内に維持管理担当会社が 2 社いることによる相互のバックアップ、常駐設備員が建物、設備、外構の日常点検、不具合対応等を包括的にを行う提案がされており高く評価できる。
継続的業務改善等で質的向上が図られているか	・トリプルチェック体制（業務責任者、設備員の日々の確認、専門技術者の確認）維持管理担当会社による相互モニタリング、利用者満足度調査を行う提案がされており評価できる。
光熱水費の削減	
光熱水費の削減への効果的な提案がなされているか	・エネルギー原単位を把握・分析し、使用量の適正化と低減化によりエネルギー費の削減、管理システムを活用したデータの蓄積・分析・運用を行う提案がされており評価できる。
環境負荷への配慮	
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	・千葉県環境方針、ISO14001 の思想に則った業務の実施、細分化した分別リサイクルボックスの設置、IPM による防鼠・防虫管理、薬剤等の人体、環境への配慮を行う提案がされており高く評価できる。
緊急時の対応	
突発的事故、故障等によりサービスが中断された際、回復が速やかに行われるための効果的な提案がなされているか	・24 時間連絡体制の確保、非常時のレベルを設定し、そのレベルに応じた対処と定期的な訓練の実施、市内 33 箇所の近隣拠点からのバックアップを行う提案がされており評価できる。
突発的事故、故障等の状況を的確に把握でき、速やかに対応がとれるような効果的な管理体制・システムが出来ているか	・管理システムを活用したデータの蓄積・分析、外部に 24 時間対応の管理センターを設置しそこからバックアップを行う提案がされており評価できる。
セキュリティ	
警察業務上の情報漏えい等、高度なセキュリティを保つような提案がなされているか	・情報セキュリティ指針の策定、業務従事者との守秘義務契約、各種資料の管理における具体的な提案がされており高く評価できる。
修繕計画	
事業期間中及び事業期間終了後 1 年以内に大規模修繕が発生しないように業務を実施する提案がなされているか	・管理システムの活用によるデータの蓄積・分析による効果的な修繕の実施、事業終了後 1 年目に修繕費が高む計画となっていることは評価出来ないが、その後の適切な修繕計画は評価できる。
予防保全を基本とし、劣化等による危険・障害の未然防止がされるような提案がなされているか	・PDCA サイクルにより継続的に業務を改善し、専門技術者による診断を実施する提案がされており評価できる。

評価項目	評価内容
4. 運営に関する項目	
運営計画	
県との連携体制、非常時の対応等に係る業務計画に対する具体的な提案がなされているか	・非常時のレベルを設定し、そのレベルに応じた対処と定期的な訓練の実施、警備・受付案内業務を行う2社による相互モニタリング、食堂や広報センターにおけるアンケートを行う提案がされており評価できる。
各運營業務等の連携により効率化を図る具体的な提案がなされているか	・福利厚生諸室の一括運営、受付に女性警備員を配置する提案がされており高く評価できる。
喫茶店(1階)は警察本部の附帯施設にふさわしく、建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・建物本体のコンセプトに合致したデザインとなっているが、椅子等の配置がくつろぎの場としての要素に欠ける。
施設利用	
福利厚生諸室、喫茶店等、利用者のニーズに対応した提案がなされているか	・アンケートの実施により利用者のニーズを運営に反映、食堂運営担当会社が衛生事故を起こしたことがない実績、独自の衛生マニュアルによる食堂等の衛生管理、売店・クリーニング店の営業時間拡大、制服等のクリーニングにおける厳重な管理の提案がされており評価できる。
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	・ISO14001取得企業による環境負荷低減への取組、ゴミの減量化と分別、消耗品等のグリーン調達提案がされており評価できる。
広報センター	
県民に対する警察への理解と協力の向上に役立つ整備・運営計画の提案がなされているか	・子供が楽しめるようなキッズコーナーの設置、オープン前からの広報活動、見学者案内スタッフのセルフモニタリングの実施の提案がされており評価できる。
利用者の安全対策やセキュリティへの具体的な提案がなされているか	・広報センター内の什器・備品に対する安全対策、見学者の識別のためストラップを配布する提案がされており高く評価できる。
建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・広報センター内の機器がエントランスロビーと統一感があり、廊下側からの開放感がある。

評価項目	評価内容
5 . 特殊機器に関する項目	
システム構築計画	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの各システム構築の目的・要件・スケジュール等を的確に把握し、安定なシステムを確実に構築する体制およびプロセス、ユーザ教育並びに発注者が提供する機密情報を保護するための手法等に関して有効な提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発,設計,構築体制に関して実績等を有した体制が組み立てられており、構築の過程がシステム単位に十分に検討されスケジュールリングされている。また、現場作業及び現地試験調整に関する有効な体制、適切な教育体制、システム構築時における機密情報の保護などが提案されており高く評価できる。
通信指令システム	
<p>通信指令業務の効率性・運用性、システムの信頼性・運用形態の変更に对应できる柔軟性・拡張性・保守性・保守管理性・経済性、旧システムからの移行性、などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、通信指令システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・システムの2重化構成を図り、各装置コンポーネントのほとんどを多重化して搭載し障害発生時にも停止しない安定稼働の提案がなされている。 ・既存システムの資産継承方法や既存システムデータの移行方法、また具体的な耐震対策の提案がなされている。
<p>要求水準書(通信指令システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・緊急配備発令に際して大型表示装置と連動したメッセージ表示によるスムーズな業務遂行、通報履歴や類似事案の同一画面処理等の提案がなされている。 ・統計処理機能による事案分析やユーザ側のタイムリーな地図更新機能や習熟度に合わせた検索機能のカスタマイズ等、状況の変化に対応できる提案がなされている。 ・マンロケ測位情報をキャリアに残さない提案や、携帯機の置忘れや盗難に関する効果的な提案がなされている。
<p>通信指令システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・各サブシステムを構成する機器について高性能マシンの提案がなされている。また、バックアップ時間やデータ容量の試算、高信頼性、耐障害性、システム異常監視機能、セキュリティ等に関する提案がなされている。 ・反射型液晶(LCOS)の提案や、光源ランプの自動交換による長寿命化の提案がなされている。 ・警察庁認可暗号装置を使用したセキュリティ確保の提案がなされている。

警備部会議室システム	
警備部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、警備部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・フォールトトレラントテクノロジーの採用による業務運用効率及び保守性の向上の提案がなされている。 ・ユーザーインターフェースの採用による操作性の向上、ヘルプ機能の採用による操作支援、マルチプラットフォーム対応の GIS エンジンの採用による OS 変更時の柔軟な対応が提案されている。 ・サブシステム毎のモジュール設計やバックアップ装置の二重化、統合監視機能による障害の事前検知の提案がなされている。 ・5年後の機器更新や端末のスタンドアロン機能、地下街,空港,駅,公園等の詳細地図表示機能や、具体的な耐震対策の提案がなされている。
要求水準書(警備部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・災害基礎資料で扱うデータの追加、警備ルート、移動シミュレーション、雑踏シミュレーション等、情報管理システムについて多彩な提案や、3D 表示、住所あいまい検索、目的物周辺検索等、地図サーバシステムについての提案がなされている。 ・総合監視機能によるネットワーク監視や、周波数変移方式によるハウリング防止等の提案がなされている。
警備部会議室システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・情報管理サーバには拡張性の高い RDBMS の採用、処理能力の観点から FT サーバ、マルチプラットフォーム対応による拡張性の提案がなされている。 ・反射型液晶(LCOS)の提案や、光源ランプの自動交換の提案がなされている。
刑事部会議室システム	
刑事部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、刑事部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・フォールトトレラントテクノロジーの採用による業務運用効率及び保守性の向上の提案がなされている。 ・主要コンポーネントの多重化やハードディスクの RAID 構成による最適化の提案がなされている。 ・5年後の機器更新や、具体的な耐震対策の提案がなされている。
要求水準書(刑事部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・地図システム、画像解析機能、解析履歴管理機能についての提案がなされている。
刑事部会議室システムを構成する各機器の性能について、有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・情報管理サーバには拡張性の高い RDBMS の採用やサーバワイドプロセッシング技術によるハイパフォーマンスの提案がなされている。 ・マルチプラットフォーム対応の GIS エンジンの採用による OS 変更時の柔軟な対応が提案されている。 ・反射型液晶(LCOS)の提案や、光源ランプの自動交換の提案がなされている。

保守管理	
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの業務特性に適応した迅速かつ確な保守対応について、有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・保守体制に関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・警察本部まで30分、県内各警察署へは1時間で到達する等の迅速な対応が提案されている。また、障害対応の報告はポータルページに最新情報として記載する提案がなされている。 ・本部への定期メンテナンスとして年にハードウェア2回、システム4回、データ2回、運用開始後3ヶ月間はSEが常駐し運用支援を行う提案がなされている。また、警察署へは年2回の定期メンテナンスが提案されている。 ・保守点検ではネットワーク負荷測定、レスポンス測定、CPU及びメモリの稼働率の監視を行い、障害の未然防止及びマシン性能の劣化を防ぐ提案がなされている。
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの安定運用に必要な設備改修について、経済性等を考慮した有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・特に有効な提案はなかった。
セキュリティ	
通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムとして最適な情報セキュリティ保護方法に関して有効な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティに関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・ICカード認証や本部～各署間の回線暗号化、マンロケ携帯機の専用アクセスサービスの提案がなされている。 ・ファイアウォールやセキュリティGWの設置、IDSの導入によるセキュリティ攻撃の未然防止の提案、ファイルサーバからネットワーク内全てのクライアントにウイルス対策ソフトを提供する提案がなされている。 ・セキュリティチップを搭載したハードウェアの使用や隠し印刷機能等による情報漏えい防止の提案がなされている。
その他	
その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの構築に関して有用な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・3システムに共通の提案として、地図データベースの共有化が提案されており評価できる。

イ 大林組グループ

評価項目	評価内容
1. 事業計画に関する項目	
事業実施体制	
事業を安定的に実施できる事業実施体制が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルな SPC の構成であるため代表企業のバックアップは期待できないが、SPC の経営や業務に対する具体的で充実したセルフモニタリング体制が提案され、非常に高く評価できる。
各業務を実施する事業者間において事業安定性が図られる合理的なリスク分担が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊機器担当企業の SPC への出資がないため合理的なリスク分担とは評価できなかった。 ・各部門ごとに常駐責任者を置き、業務間の連携や SPC 独自の会議など効果的な提案がされ、高く評価できる。
リスク管理	
予期せぬ事態発生に対し有効な対応策が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理アドバイザー活用するなど綿密なリスク分析がされていることが非常に高く評価できる。 ・サービス対価の減額に対してパススルーが提案されていることが非常に高く評価できる。 ・要求水準以上の充実した保険内容が提案され、非常に高く評価できる。
事業者の責による破綻時の対応が取れているか	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の配当制限など充実した内部留保の提案がされ、非常に高く評価できる。 ・各業務をコンソーシアム内外の企業に振り分けトータルでバックアップする体制の提案がされ、評価できる。
資金調達計画	
事業を安定的に実施できる資金調達方法となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を安定的に実施できる資金調達計画が提案され、高く評価できる。 ・金融機関から融資関心表明書を得て提案され、評価できる。
資金調達条件は適切で妥当であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・付属文書により融資金融機関との間で融資条件が検討の上提案され、評価できる。 ・多くの PFI の実績を有する金融機関からの融資であり、非常に高く評価できる。
キャッシュフロー計画	
キャッシュフロー計画は適正に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> ・LLCR、DSCR 等の金融指標が一定の水準で提案され、高く評価できる。
資金不足時の対応策は講じられているか	<ul style="list-style-type: none"> ・県からの支払い遅延時に SPC が金融機関への返済猶予期間が提案され、非常に高く評価できる。 ・追加の劣後ローンが提案され、評価できる。
地域経済への貢献	
事業の実施に伴い、地域経済の活性化に貢献する提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・県内金融機関がリードアレンジャーとなる提案があり、評価できる。 ・地元住民の雇用や地元からの材料等の調達計画が提案され、評価できる。

評価項目	評価内容
2. 施設整備に関する項目	
建築・設備の性能（VE 提案によりライフサイクルコストの上昇を伴わない提案に限る）	
施設の機能性の向上に対する提案がされているか	・照明制御システムの合理化については、監視への集中力を長時間継続させ中央監視機能の向上に寄与することから、警察本部庁舎としての機能向上が期待でき評価できる。
施設の利便性の向上に対する提案がされているか	・事務室内の煙感知器を遠方試験機能付きに変える提案は、直接的に職員・来庁者にとっての利便性ではないが、メンテナンススタッフの立ち入りによる執務中断を減らすことができ評価できる。
建築・設備の耐久性を高める提案がされているか	・防火水槽をスチール製から既製コンクリート製に変更する提案など、有効な提案が多く、高く評価できる。
防災性能・安全性能の向上に対する提案がされているか	・地下駐車場の消火設備を泡方式から閉鎖型噴霧方式に変更する提案やエントランスのガラス庇を止める提案は、評価できる。
環境負荷低減やリサイクルに対する提案がされているか	・最適設計による省資源、CO2 排出削減、環境負荷の低減として材料の使用量削減などに係る提案がされており、評価できる。
施工品質、工期	
施工品質の向上に対する提案がなされているか	・ISO9001 に基づく品質管理が提案されており評価できる。 ・工事中のセキュリティ管理について具体的な提案がされており評価できる。
建設工期遵守に対する提案がなされているか	・許認可の取得について十分な期間が考慮されており、特に電波伝搬路協議についての具体的に記述があり非常に高く評価できる。
周辺・安全への配慮	
周辺地域への配慮が十分になされているか	・特に、揚重機に電波吸収体等を取り付けて作業を行う提案は具体的で評価できる。
安全対策への効果的な提案がなされているか	・一般的なものではあるが、効果が期待できる多くの提案がなされており評価できる。

評価項目	評価内容
3. 維持管理に関する項目	
維持管理計画	
総合的管理体制によって、施設全体を統括した効率の良い維持管理計画が図られているか	・総括責任者を常駐で配置し、各責任者を統括して管理することによる警察業務の効率化が図られる体制、特殊機器保守管理業務と連絡調整を図る体制、毎月県とSPCによる連絡会を開催する提案がされており高く評価できる。
継続的業務改善等で質的向上が図られているか	・維持管理業務の専門家による自主モニタリングとバックアップサービスによる第三者視点モニタリング、利用者満足度調査の実施、維持管理業務の専門家を検査技術者とする提案がされており評価できる。
光熱水費の削減	
光熱水費の削減への効果的な提案がなされているか	・省エネ法の第一種エネルギー管理指定工場に準ずる中長期計画及び報告書の作成、管理システムを活用したデータの蓄積・分析・運用を行う提案がされており評価できる。
環境負荷への配慮	
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	・分別ボックスの設置、薬剤散布量の最小化と製品安全データシートを活用した薬剤等の環境負荷が少ないものの選定を行う提案がされており評価できる。
緊急時の対応	
突発的事故、故障等によりサービスが中断された際、回復が速やかに行われるための効果的な提案がなされているか	・24時間連絡体制の確保、非常時における業務従事者のバックアップの具体的な提案がされており評価できる。
突発的事故、故障等の状況を的確に把握でき、速やかに対応がとれるような効果的な管理体制・システムが出来ているか	・管理システムを活用したデータの蓄積・分析を行う提案がされており評価できる。
セキュリティ	
警察業務上の情報漏えい等、高度なセキュリティを保つような提案がなされているか	・業務従事者との守秘義務契約、ICカードと管理パソコンによる業務従事者の入退室集中管理、各種資料の管理における具体的な提案がされており評価できる。
修繕計画	
事業期間中及び事業期間終了後1年以内に大規模修繕が発生しないように業務を実施する提案がなされているか	・管理システムの活用によるデータの蓄積・分析による効果的な修繕の実施、事業終了後の適切な修繕計画は高く評価できる。
予防保全を基本とし、劣化等による危険・障害の未然防止がされるような提案がなされているか	・PDCAサイクルにより継続的に業務を改善し、専門有資格者、専門機器を使用した診断を5年毎に実施する提案がされており評価できる。

評価項目	評価内容
4. 運営に関する項目	
運営計画	
県との連携体制、非常時の対応等に係る業務計画に対する具体的な提案がなされているか	・非常時における業務従事者のバックアップの具体的な提案と警備の専門家による3ヶ月ごとのチェック、食堂や喫茶店、広報センターでアンケートを実施する提案がされており評価できる。
各運営業務等の連携により効率化を図る具体的な提案がなされているか	・福利厚生諸室の一括運営、受付に警備業務の知識、能力を持つ者を配置する提案がされており高く評価できる。
喫茶店(1階)は警察本部の附帯施設にふさわしく、建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・落ち着いたあるインテリアデザインで庁舎に調和しており、サインを控える等の配慮もしている。また、あらゆる来庁者に対応した作りとなっている。
施設利用	
福利厚生諸室、喫茶店等、利用者のニーズに対応した提案がなされているか	・アンケートの実施により利用者のニーズを運営に反映、プリペイドカードによる庁舎内キャッシュレス化、制服等のクリーニングにおける厳重な管理、3日分の非常食を準備する提案がされており評価できる。
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	・ゴミの減量化と分別を行う提案がされており評価できる。
広報センター	
県民に対する警察への理解と協力の向上に役立つ整備・運営計画の提案がなされているか	・広報担当者との連携、複合演出モードと体験モードの2構成による効果的な演出、サイクルシミュレーターや自動立体紙芝居によるクイズ等の展示は評価できる。
利用者の安全対策やセキュリティへの具体的な提案がなされているか	・広報センター内の什器・備品に対する安全対策、スタンプラリーの導入を行う提案がされており高く評価できる。
建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・ロビー空間との統一感、ガラスパーテーションにより広報センター内の視認性を高めるなど建物の統一感に配慮した提案となっているが、やや華やかな印象を受ける。

評価項目	評価内容
5 . 特殊機器に関する項目	
システム構築計画	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの各システム構築の目的・要件・スケジュール等を的確に把握し、安定なシステムを確実に構築する体制およびプロセス、ユーザ教育並びに発注者が提供する機密情報を保護するための手法等に関して有効な提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 構築の過程が十分に検討されていることや、教育体制、システム構築時における機密情報の保護などが提案されているが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。
通信指令システム	
<p>通信指令業務の効率性・運用性、システムの信頼性・運用形態の変更に対応できる柔軟性・拡張性・保守性・保守管理性・経済性、旧システムからの移行性、などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、通信指令システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 ハードウェアの二重化やソフトウェア面での対応によるシステムの安定運用や、各機器の冗長化及びデータベースのクラスタ構成による障害時の提案がなされている。
<p>要求水準書(通信指令システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 通報履歴、同報処理の参照、利用、非定型統計出力、警報一括表示機能についての提案や、通報履歴や類似事案の同一画面処理、GIS を用いた地理分析機能の提案がなされている。 長時間録音装置において事案番号と関連づけて110番通話を録音し、受け付け画面も同時参照する提案がなされている。
<p>通信指令システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 高性能 UNIX マシンについての提案がなされている。 性能指標に関するデータ容量の検討等が行われ、システムが提案されている。
警備部会議室システム	
<p>警備部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、警備部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 警備部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 現行システムから時期システムへのソフト資産継承方法について、SOA手法を採用した設計や UML を用いたドキュメント作成による情報の共有化が提案されている。 部品単位での冗長化や重要装置の二重化、フェールオーバー機能が提案されている。

<p>要求水準書(警備部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 警備部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 過去の災害情報をナレッジ情報として蓄積し、災害対策支援とする提案がなされている。 統合型 GIS 機能により地図データの統合化、効率化、高度化、複合化の提案がなされている。
<p>警備部会議室システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 警備部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 映像表示システムの自動ランプチェンジャー等が提案されている。
<p>刑事部会議室システム</p>	
<p>刑事部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、刑事部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 刑事部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できるが具体性に欠けること等から、低評価となった。 部品単位での冗長化や重要装置の二重化、フェールオーバー機能が提案されている。 5年後の機器更新が提案されている。
<p>要求水準書(刑事部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 刑事部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 地図情報を用いた各種分析、解析機能が数多く提案されている。
<p>刑事部会議室システムを構成する各機器の性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な提案は見られない。
<p>保守管理</p>	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの業務特性に適應した迅速かつ的確な保守対応について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保守体制に関して、以下に示す提案について評価できる。 保守要員が警察本部に常駐する提案となっている。 定期保守については、詳細な保守サービスメニューの提案や、県内3箇所の保守センターにシステム構成部品を確保する提案がなされている。 警察本部から署端末を WEB 方式で遠隔操作しほとんどの障害を対応する提案がなされている。
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの安定運用に必要な設備改修について、経済性等を考慮した有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 設備改修に関して以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないこと等から、低評価となった。 年2回以上の主要設備の稼動状況調査を行い、適切な設備改修レベルを判断して実施する提案がされている。
<p>セキュリティ</p>	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムとして最適な情報セキュリティ保護方法に関して有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティに関して、以下に示す提案について高く評価できる。 通信の暗号化は警察庁のカーロケータ技術基準を用い、更に独自暗号技術を用いて暗号の二重化を行う提案がなされている。また、各システムについて生体認証の提案がなされている。 ウイルスパターンファイルは、1日1回実施する提案がなされている。 データアクセスや使用履歴の監視、印刷機能の制限やログの監視等、情報漏えいに対する複数の対策がケース別に提案されている。

	その他		
	<table border="1"><tr><td>その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの構築に関して有用な提案がなされているか</td><td>・特に効果的な提案はなかった。</td></tr></table>	その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの構築に関して有用な提案がなされているか	・特に効果的な提案はなかった。
その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの構築に関して有用な提案がなされているか	・特に効果的な提案はなかった。		

ウ 清水・富士通グループ

評価項目	評価内容
1. 事業計画に関する項目	
事業実施体制	
事業を安定的に実施できる事業実施体制が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルな SPC の構成であるため代表企業のバックアップは期待できないが、SPC の経営や業務に対するセルフモニタリング体制が提案され、評価できる。
各業務を実施する事業者間において事業安定性が図られる合理的なリスク分担が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊機器担当企業を始め業務量に応じた SPC への出資がされ、高く評価できる。 ・各部門ごとに常駐責任者を置き、業務間の連携や SPC 独自の会議など効果的な提案がされ、評価できる。
リスク管理	
予期せぬ事態発生に対し有効な対応策が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理アドバイザーするなど綿密なリスク分析がされていることが非常に高く評価できる。 ・サービス対価の減額に対してパススルーが提案され、非常に高く評価できる。 ・要求水準以上の充実した保険内容が提案され、非常に高く評価できる。
事業者の責による破綻時の対応が取れているか	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の配当制限など充実した内部留保の提案がされ、高く評価できる。 ・一部の業務についてバックアップする体制の提案がされ、やや評価できる。
資金調達計画	
事業を安定的に実施できる資金調達方法となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を安定的に実施できる充実した資金調達計画が提案され、非常に高く評価できる。 ・金融機関から融資関心表明書を得て提案され、評価できる。
資金調達条件は適切で妥当であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・付属文書により融資金機関との間で融資条件が検討され提案され、評価できる。 ・多くの PFI の実績を有する金融機関からの融資であり、非常に高く評価できる。
キャッシュフロー計画	
キャッシュフロー計画は適正に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> ・LLCR、DSCR 等の金融指標が高い水準で提案され、非常に高く評価できる。 ・特殊機器更新費を SPC 内で積立することで委託先企業の倒産の影響を緩和する提案がされ、評価できる。
資金不足時の対応策は講じられているか	<ul style="list-style-type: none"> ・県からの支払い遅延時に SPC が金融機関への返済猶予期間が提案され、非常に高く評価できる。
地域経済への貢献	
事業の実施に伴い、地域経済の活性化に貢献する提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・県内金融機関がリードアレンジャーとなり、県内企業の活用がされる提案があり、高く評価できる。 ・地元住民の雇用や地元からの材料等の調達計画が提案され、評価できる。

評価項目	評価内容
2. 施設整備に関する項目	
建築・設備の性能（VE 提案によりライフサイクルコストの上昇を伴わない提案に限る）	
施設の機能性の向上に対する提案がされているか	・各種部材の見直しによる変更の提案がされており機能性の向上について評価できる。
施設の利便性の向上に対する提案がされているか	・特に、B1F に維持管理運営担当者用更衣室の設置する提案は、担当者が持ち場不在の場合も、控え室が第一の所在確認先となり、職員にとっての利便性向上の効果は高く評価できる。
建築・設備の耐久性を高める提案がされているか	・耐久性を向上させる提案というよりは、コスト縮減の側面もあるが、評価できる。
防災性能・安全性能の向上に対する提案がされているか	・特別高圧電気室におけるインバータ制御を取り止め、定風量方式の空調とする提案は、故障率を低減し、防災性能・安全性能の向上は評価できる。
環境負荷低減やリサイクルに対する提案がされているか	・高効率モーターの使用による電気使用量の削減など高く評価できる。
施工品質、工期	
施工品質の向上に対する提案がなされているか	・ISO9001 に基づく品質管理が提案されており評価できる。 ・工事中のセキュリティ管理について具体的な提案がされており評価できる。
建設工期遵守に対する提案がなされているか	・許認可の取得について十分な期間を考慮されており評価できる。
周辺・安全への配慮	
周辺地域への配慮が十分になされているか	・部材のユニット化・プレカット化や建設副産物発生抑制についてISO14001 に基づく4R運動のあらゆる段階で実施する提案など具体的に評価できる。
安全対策への効果的な提案がなされているか	・一般的なものではあるが、効果が期待できる多くの提案がされており評価できる。

評価項目	評価内容
3. 維持管理に関する項目	
維持管理計画	
総合的管理体制によって、施設全体を統括した効率の良い維持管理計画が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理業務総括責任者、運営業務総括責任者の上に、維持管理・運営マネージャーが常駐し業務全体を統括して管理することによる警察業務の効率化が図られる体制、特殊機器保守管理業務も維持管理・運営マネージャーが統括して管理する体制、毎月県とSPCによる協議会の開催、SPC内に維持管理担当会社が2社いることによる相互のバックアップが可能となる提案がされており高く評価できる。
継続的業務改善等で質的向上が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理業務総括責任者による自主モニタリングと第三者評価として3ヶ月毎に維持管理担当会社の指導員による現場点検、利用者満足度調査の実施、維持管理担当会社の指導員を検査技術者とする提案がされており評価できる。
光熱水費の削減	
光熱水費の削減への効果的な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー管理員を常駐させ省エネルギー計画・提案を実施、年1回エネルギー管理士の助言、3年に1回第三者機関による診断の実施、管理システムを活用したデータの蓄積・分析・運用を行う提案がされており高く評価できる。
環境負荷への配慮	
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001に基づいた業務実施、捕獲調査等のデータに基づく、発生、進入経路の遮断による薬剤散布量の最小化を行う提案がされており評価できる。
緊急時の対応	
突発的事故、故障等によりサービスが中断された際、回復が速やかに行われるための効果的な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> 24時間連絡体制の確保、非常時における業務従事者のバックアップの具体的な提案と定期的な訓練の実施は評価がされており評価できる。
突発的事故、故障等の状況を的確に把握でき、速やかに対応がとれるような効果的な管理体制・システムが出来ているか	<ul style="list-style-type: none"> 管理システムを活用したデータの蓄積・分析、外部に24時間対応の管理センターを設置しそこからバックアップを行う提案がされており評価できる。
セキュリティ	
警察業務上の情報漏えい等、高度なセキュリティを保つような提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> 業務従事者との守秘義務契約、非接触型カードによる警戒区域の入出管理、データを扱うパソコンのオフラインとUSBキーでのロック、各種資料の管理における具体的な提案がされており評価できる。
修繕計画	
事業期間中及び事業期間終了後1年以内に大規模修繕が発生しないように業務を実施する提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> 管理システムの活用によるデータの蓄積・分析による効果的な修繕の実施、事業終了後1,2年目は適切な修繕計画となっていることは評価できる。
予防保全を基本とし、劣化等による危険・障害の未然防止がされるような提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルにより継続的に業務を改善し、10,15年目に診断を実施する提案がされており評価できる。

評価項目	評価内容
4 . 運営に関する項目	
運営計画	
県との連携体制、非常時の対応等に係る業務計画に対する具体的な提案がなされているか	・非常時における施設常駐員のバックアップの具体的な提案と各種災害の想定訓練の実施、売店でアンケートを実施する提案がされており評価。
各運營業務等の連携により効率化を図る具体的な提案がなされているか	・福利厚生諸室の一括運営、受付の待機スタッフを見学者案内スタッフと兼務する提案がされており評価できる。
喫茶店(1階)は警察本部の附帯施設にふさわしく、建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・外装、デザイン、色調を華美にならないよう配慮されており、内装も重厚にならないように配慮されているが、イメージが庁舎との調和に欠ける。
施設利用	
福利厚生諸室、喫茶店等、利用者のニーズに対応した提案がなされているか	・POS システムの活用等マーチャライジングによる販売促進、衛生管理マニュアルに従い衛生管理を行い、衛生管理自主モニタリングを定期的実施、制服等のクリーニングにおける厳重な管理をする提案がされており評価。
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	・ISO14001 を取得し、環境負荷低減の積極的な活動の実施、ゴミの減量化と分別を行う提案がされており評価できる。
広報センター	
県民に対する警察への理解と協力の向上に役立つ整備・運営計画の提案がなされているか	・交通安全・歩行者シミュレーション等の展示は評価できる。
利用者の安全対策やセキュリティへの具体的な提案がなされているか	・広報センター内の什器・備品に対する安全対策を行う提案がされており評価できる。
建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・建物との統一感を図るため、エントランスホールのガラスの透明感を意識して色彩、素材感等に配慮するとしているが、提案内容にやや具体性が欠ける。

評価項目	評価内容
5. 特殊機器に関する項目	
システム構築計画	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの各システム構築の目的・要件・スケジュール等を的確に把握し、安定なシステムを確実に構築する体制およびプロセス、ユーザ教育並びに発注者が提供する機密情報を保護するための手法等に関して有効な提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発、設計、構築体制に関して実績等を有した体制が組まれており、現地試験調整に関する体制、教育体制、システム構築時における機密情報の保護などの提案がされている。また、通信指令システムにおける国費基本システムとの連携を考慮した提案がされており評価できる。
通信指令システム	
<p>通信指令業務の効率性・運用性、システムの信頼性・運用形態の変更に对应できる柔軟性・拡張性・保守性・保守管理性・経済性、旧システムからの移行性、などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、通信指令システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・運用性、操作性の観点からシステム構築が提案されている。また、ハードディスク等の主要機器の部品交換にホットスワップ対応が提案されている。 ・国費システムテスト機による連携試験の実施が提案されている。 ・システム構成機器については大型コンピュータ等と同等の手法や設計規格、品質基準を採用した機器の提案や、クライアント機器では24時間連続運転を前提としたFAパソコンが提案されている。 ・クラスタ構成、フォールトトレラントサーバによる障害発生時の対応が提案されている。 ・マスタデータ格納先の2面構造によるデータメンテナンスの効率化や将来の拡張性を十分に考慮したCPUやメモリ、ディスク増設が可能な機種が提案されている。 ・サーバ、ネットワーク機器、床設置機器、卓上設置機器について具体的な耐震対策が提案されている。
<p>要求水準書(通信指令システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・110番事案情報に対するフリーキーワード検索や種々の分析、解析機能が提案されている。 ・タイムリーな地図更新機能や習熟度に合わせた検索機能のカスタマイズ、地図検索結果の一覧から複数の候補場所を分割表示できる等の提案がなされている。 ・マンロケ端末を本部から遠隔操作で使用不可とする等のセキュリティ対策が提案されている。 ・マルチランプ方式による連続運転の提案や、タイマーによるランプ相互点灯等、運用に併せた点灯方式の選択の提案がなされている。 ・動画及び静止画のスケジュール収集やマルチライブ及びオンデマンド画像やサムネイル表示昨日の提案がなされている。
<p>通信指令システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・各サブシステムを構成する機器について高性能マシンの提案やデータ検索の高速化プログラム、高速サーバや高速ディスクアレイを採用する提案がなされている。 ・大型表示システムではUXGA高精細表示の提案やマルチランプによる画面切れのないランプの自動切換えの提案がなされている。 ・警察本部やエリア代表の警察署に複数のDGPS受信機を複数設置し、受信した補正データから補正後の位置情報を取得する提案がなされている。

警備部会議室システム	
<p>警備部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、警備部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・情報管理サーバ及び地図サーバにフォルトトレラントサーバを採用、画像サーバにはブレード構成を採用する等、選定機器に対して信頼性、運用性の提案がなされている。 ・生体認証技術の開発進行に対応可能なインターフェイスが構築できるシステムとする提案がなされている。 ・資産継承するデータがシステム毎に具体的に検討され、汎用的なフォーマットで蓄積する等の提案がなされている。 ・サーバ、ネットワーク機器、床設置機器、卓上設置機器について具体的な耐震対策が提案されている。
<p>要求水準書(警備部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・地図検索において複数目的物検索、路線目標物検索、エリア内検索、また、運用管理者が新たな目標物を簡単に追加更新できる提案がなされている。 ・動画や静止画の蓄積パターンが設定でき、災害時の定期監視や警備警護時のスケジュール管理の提案がなされている。 ・マルチランプ方式による連続運転の提案や、タイマーによるランプ相互点灯等、運用に併せた点灯方式の選択の提案がなされている。 ・赤外線式ワイヤレスマイクや録音音声におけるタイムスタンプ機能等が提案されている。
<p>警備部会議室システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・データ検索の高速化プログラムや高速サーバ、ディスクアレイを採用する提案がなされている。 ・地図データの正規化と各端末への配置による高速化が提案されている。 ・大型表示システムでは UXGA 高精細表示の提案やマルチランプによる画面切れのないランプの自動切換えの提案がなされている。
刑事部会議室システム	
<p>刑事部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、刑事部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・情報管理サーバ及び地図サーバにフォルトトレラントサーバを採用、画像サーバにはブレード構成を採用する等、選定機器に対して信頼性、運用性の提案がなされている。 ・前面保守対応可能な大型表示パネルを採用することで背面を機械室レスとする等の省スペース化の提案がなされている。 ・クラスタ構成によるホットスタンバイにより障害発生時には待機系サーバで業務アプリケーションを起動し、業務を継続できること、フォールトトレランスサーバによる冗長性を確保したシステムにより障害発生時に停止時間なしで動作を継続できること、クライアント機器の単独動作が可能であり、サーバとの通信障害発生時でも各機能が使用可能なことなどが提案されている。 ・サーバ、ネットワーク機器、床設置機器、卓上設置機器について具体的な耐震対策が提案されている。
<p>要求水準書(刑事部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・大型表示パネルのマルチランプ方式機能が提案されている。 ・画像サーバシステムのスケジュール管理機能については拡張性を考慮し、画像管理サーバ1台に最大16台の画像蓄積サーバを増設できることなどが提案されている。

<p>刑事部会議室システムを構成する各機器の性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・データ検索の高速化プログラムや高速サーバ、ディスクアレイを採用する提案がなされている。 ・大型表示システムでは UXGA 高精細表示の提案やマルチランプによる画面切れのないランプの自動切換えの提案がなされている。
<p>保守管理</p>	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの業務特性に適応した迅速かつ確かな保守対応について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保守体制に関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・保守要員が県警本部に常駐する体制となっている。また、警察本部まで30分、県内各警察署へは1時間で到達する等の迅速な対応が提案されている。 ・システム稼働状況、障害対応状況、保守点検計画について取り纏め定期的な保守管理業務定例会を実施する提案がなされている。 ・システム稼働情報、異常兆候などを収集分析し、障害が発生する前に最善な対処を行なう提案がなされている。
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの安定運用に必要な設備改修について、経済性等を考慮した有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備改修に関して、以下に示す提案について評価できるが、その他提案が少ないことから、低評価となった。 ・保守部品が入手困難になったハードウェアを一括更新または生涯発生時に順次更新する等の提案がされている。
<p>セキュリティ</p>	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムとして最適な情報セキュリティ保護方法に関して有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティに関して、以下に示す提案について評価できる。 ・データの暗号化、ID・パスワードによる認証、MACアドレスフィルタリング機能による不正接続防止、ポートフィルタリングによるなりすまし端末のアクセス防止等が提案されている。 ・聴取用紙のペーパーレス化、印刷管理、外部出力ログの取得・監視等について提案がされている。
<p>その他</p>	
<p>その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの構築に関して有用な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムのうち要求水準で求めている5年後の更新以外のシステムについて更新の提案がされているが、その他提案が少ないことから、低評価となった。

エ 日立製作所グループ

評価項目	評価内容
1. 事業計画に関する項目	
事業実施体制	
事業を安定的に実施できる事業実施体制が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> 代表企業が経営責任を持ち、プロジェクトマネジメント企業が経理・決算業務を通じた経営監視を行うなどバランスの取れた SPC の構成となっている。SPC の経営や業務に対する具体的なセルフモニタリング体制が提案され、高く評価できる。
各業務を実施する事業者間において事業安定性が図られる合理的なリスク分担が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> 各業務量に応じた SPC への出資がされ、非常に高く評価できる。 統括責任者と各部門ごとの責任者が常駐し、業務間の連携や SPC 独自の会議など効果的な提案がされ、非常に高く評価できる。
リスク管理	
予期せぬ事態発生に対し有効な対応策が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> 付属文書などから綿密なリスク分析がされた上で提案され、非常に高く評価できる。 サービス対価の減額に対してパススルーが提案され、非常に高く評価できる。 要求水準以上の保険内容が提案され、やや評価できる。
事業者の責による破綻時の対応が取れているか	<ul style="list-style-type: none"> 豊富なりザーブ資金により、破綻に強い提案がされ、非常に高く評価できる。 株式の配当制限など充実した内部留保の提案がされ、非常に高く評価できる。 一部の業務についてバックアップする体制の提案がされ、やや評価できる。
資金調達計画	
事業を安定的に実施できる資金調達方法となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 事業を安定的に実施できる資金調達計画が提案され、高く評価できる。 金融機関から融資確約書を得て提案され、非常に高く評価できる。
資金調達条件は適切で妥当であるか	<ul style="list-style-type: none"> 付属文書により融資金融機関との間で融資条件が細かく検討され提案され、非常に高く評価できる。 多くの PFI の実績を有する金融機関からの融資であり、非常に高く評価できる。
キャッシュフロー計画	
キャッシュフロー計画は適正に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> LLCR、DSCR 等の金融指標が一定の水準で提案され、評価できる。 修繕費、特殊機器更新費を SPC 内で積立することで委託先企業の倒産の影響を緩和する提案がされ、非常に高く評価できる。
資金不足時の対応策は講じられているか	<ul style="list-style-type: none"> 県からの支払い遅延時に SPC が金融機関への返済猶予期間が提案され、非常に高く評価できる。 追加の多額の劣後ローンが提案され、非常に高く評価できる。
地域経済への貢献	
事業の実施に伴い、地域経済の活性化に貢献する提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> 県内金融機関がジョイントリードアレンジャーとなり、県内企業の活用の活性化に貢献する提案があり、非常に高く評価できる。 地元住民の雇用や地元からの材料等の調達計画が提案され、評価できる。

評価項目	評価内容
2. 施設整備に関する項目	
建築・設備の性能（VE 提案によりライフサイクルコストの上昇を伴わない提案に限る）	
施設の機能性の向上に対する提案がされているか	・特に、通信司令室のスペースの拡大、拡張機能の向上、監視、指揮機能の向上など、県警本部の中核機能の向上に寄与する提案は、「拡張性、更新性を重視した庁舎」といった実施設計コンセプトに合致するものであり、非常に高く評価できる。
施設の利便性の向上に対する提案がされているか	・特に、正面玄関の誘導サインの変更に関する提案は、スムーズなアクセスを可能とすることから、職員・来庁者にとっての利便性が高く評価できる。
建築・設備の耐久性を高める提案がされているか	・躯体コンクリートの耐久性向上、設備機器・配管の耐久性向上、使用材料の見直しなど、高く評価できる。
防災性能・安全性能の向上に対する提案がされているか	・特に、防弾ガラスの効率的な使用の提案は、実施設計コンセプトである「高度なセキュリティを持つ庁舎」に合致するものであり、非常に高く評価できる。
環境負荷低減やリサイクルに対する提案がされているか	・建設時における省資源化、資材の削減、運用時における省エネルギー性の向上など各段階における提案がなされており、高く評価できる。
施工品質、工期	
施工品質の向上に対する提案がなされているか	・ISO9001 に基づく品質管理が提案されており評価できる。 ・新庁舎の特殊構造・工法に対応した管理技術者の配置が提案されており評価できる。 ・工事中のセキュリティ管理について具体的な提案がされており評価できる。
建設工期遵守に対する提案がなされているか	・許認可の取得について十分な期間を考慮しており、特に資材発注スケジュールについての具体的な記述があり高く評価できる。
周辺・安全への配慮	
周辺地域への配慮が十分になされているか	・特に、工事中のクレーム対応についての24時間対応や騒音振動予測など具体的で評価できる。
安全対策への効果的な提案がなされているか	・一般的なものではあるが、効果が期待できる多くの提案がなされており評価できる。

評価項目	評価内容
3. 維持管理に関する項目	
維持管理計画	
総合的管理体制によって、施設全体を統括した効率の良い維持管理計画が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・業務責任者を業務総括責任者がまとめ、業務全体を統括して管理することによる警察業務の効率化が図られる体制、特殊機器保守管理業務と連携を図る体制、毎月県とSPCによる連絡会の開催、SPC内に維持管理担当会社が2社いることによる相互のバックアップ、設備員と清掃員とのマルチジョブ化の提案がされており非常に高く評価できる。
継続的業務改善等で質的向上が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の階層によるセルフモニタリング、顧客満足度を数値化することで主観を限りなく客観に近づける業務品質モニタリング、施設性能マネジメントチームによるモニタリング、維持管理担当会社による相互モニタリングの実施、KPI手法の導入を行う提案がされており高く評価できる。
光熱水費の削減	
光熱水費の削減への効果的な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理責任者をエネルギー管理員の有資格者とし、日々のエネルギー監視の実施、エネルギー管理士を始めとする環境マネジメントチームによる専門的な改善提案、3年に1回第三者機関による診断の実施、管理システムを活用したデータの蓄積・分析・運用を行う提案がされており高く評価できる。
環境負荷への配慮	
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001に基づいた業務実施、分別ボックスの設置と清掃員によるゴミの細分別、IPMによる防鼠・防虫管理、製品安全データシートを活用した薬剤の環境負荷が少ないものの選定、業務実施に伴う廃棄物の抑制とリサイクルの実施を行う提案がされており高く評価できる。
緊急時の対応	
突発的事故、故障等によりサービスが中断された際、回復が速やかに行われるための効果的な提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間連絡体制の確保、非常時のレベルを設定し、そのレベルに応じた対処と定期的な訓練の実施、近隣5箇所に緊急支援拠点の設置、重要設備等に対する保全教育の実施、緊急時における機材等の優先提供義務を委託契約等に規定する提案がされており高く評価できる。
突発的事故、故障等の状況を的確に把握でき、速やかに対応がとれるような効果的な管理体制・システムが出来ているか	<ul style="list-style-type: none"> ・管理システムを活用したデータの蓄積・分析、外部に24時間対応の管理センターを設置し、そこで異常警報等の状態監視とバックアップを行う提案がされており評価できる。
セキュリティ	
警察業務上の情報漏えい等、高度なセキュリティを保つような提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ISMSを参考とした管理システムの構築、業務従事者との守秘義務契約、庁舎管理センターの入退室管理、施設情報管理のパソコンはスタンドアロンとしログイン方法に指静脈認証装置の採用、各種資料の管理における具体的な提案がされており高く評価できる。
修繕計画	

	<p>事業期間中及び事業期間終了後 1 年以内に大規模修繕が発生しないように業務を実施する提案がなされているか</p>	<p>・管理システムの活用によるデータの蓄積・分析による効果的な修繕の実施、事業終了後の適切な修繕計画は高く評価できる。</p>
	<p>予防保全を基本とし、劣化等による危険・障害の未然防止がされるような提案がなされているか</p>	<p>・PDCA サイクルにより継続的に業務を改善し、施設性能マネジメントチームによる 3 年毎の診断を実施する提案がされており評価できる。</p>

評価項目	評価内容
4. 運営に関する項目	
運営計画	
県との連携体制、非常時の対応等に係る業務計画に対する具体的な提案がなされているか	・非常時のレベルを設定し、そのレベルに応じた対処と定期的な訓練の実施、他の業務を客観的にチェックする相互チェック、専門家によるマネジメントチームのチェック、食堂や広報センター等における利用者の声をお気付メモ、ホームページで受け付ける提案がされており高く評価できる。
各運營業務等の連携により効率化を図る具体的な提案がなされているか	・福利厚生諸室の一括運営、受付、広報センタースタッフのマルチジョブ化は高く評価できる。
喫茶店(1階)は警察本部の附帯施設にふさわしく、建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・大手コーヒーショップのフランチャイズ店であり、内装等については一定の品質確保は期待できるが、床・壁等の仕上げ色彩等が庁舎との調和に欠ける。
施設利用	
福利厚生諸室、喫茶店等、利用者のニーズに対応した提案がなされているか	・フランチャイザー等による定期巡回、業務責任者に対するマネジメント教育の定期的実施、運営担当会社教育研修部による定期的研修の実施、ホームページ等で受け付けた利用者のニーズを運営に反映、HACCPに基づいた厳重な衛生管理、物品等の納入時におけるセキュリティ対策、ICカードによるレジ精算の簡素化、制服等のクリーニングにおける厳重な管理をする提案がされており非常に高く評価できる。
省資源、省エネルギーを考慮した環境負荷低減への効果的な提案がなされているか	・ISO14001に準拠した環境負荷低減への取組、ゴミの減量化と具体的なリサイクル提案、消耗品等のグリーン調達を行う提案がされており評価できる。
広報センター	
県民に対する警察への理解と協力の向上に役立つ整備・運営計画の提案がなされているか	・広報担当者との連携、具体的な更新計画、サイクルシミュレーターや年代別に内容が変化するタッチパネルクイズ等の展示は評価できる。
利用者の安全対策やセキュリティへの具体的な提案がなされているか	・広報センター内の什器・備品に対する安全対策、見学者の識別のためストラップを配布する提案がされており高く評価できる。
建物本体との統一感に配慮した提案がなされているか	・ガラス製の間仕切りによりエントランスホールとの明確な分離が可能で、比較的大音量となる映像展示に関しては完全に分離したスペースとなっているが、廊下と間仕切りにより仕切られているため、閉鎖感がある。

評価項目	評価内容
5 . 特殊機器に関する項目	
システム構築計画	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの各システム構築の目的・要件・スケジュール等を的確に把握し、安定なシステムを確実に構築する体制およびプロセス、ユーザ教育並びに発注者が提供する機密情報を保護するための手法等に関して有効な提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発,設計,構築体制に関して実績等を有した体制が組まれており、構築の過程がシステム単位に十分に検討されスケジュールリングされている。また、現場作業及び現地試験調整に関する有効な体制、システム構築に必要なデータの明確化及びスケジュールリング、適切な教育体制、システム構築時における適切な機密情報の保護などが提案されている。また、通信指令システムにおける国費基本システムとの連携を考慮した提案がされており非常に高く評価できる。
通信指令システム	
<p>通信指令業務の効率性・運用性、システムの信頼性・運用形態の変更に対応できる柔軟性・拡張性・保守性・保守管理性・経済性、旧システムからの移行性、などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、通信指令システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について非常に高く評価できる。 ・映像表示制御装置を大型表示パネルのメンテナンス架の床下に設置することで大幅な省スペース化を図り、システム増設やシステム更新に効果的な提案がされている。 ・無線指令台 B に国費基本システムで整備される事案端末を実装し、他の指令台と同様の画面レイアウトや操作性を実現する提案がされている。 ・運用方法の継承、操作環境の継承、システムデータの流用、旧データの転用閲覧、現行システムと新システムの情報共有について、具体的な提案がされている。 ・業務の流れや指令員の視線移動に配慮した機能性の高い卓上構成、機器配置が図解入りで表現され操作卓と勤務員の融合が考慮された具体的な提案がされている。 ・運用開始後のステップアップサービスとして、意見要望の実現性を検証しシステム改修を実施する提案がある。 ・将来のシステム増設を見込んだ設計を行い効率よく増設機器とのシステム連携が図れる仕組みの提供について提案されている。
<p>要求水準書(通信指令システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムの機能に関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・シミュレーション機能について、単に逃走エリアを表示するだけでなく、指向性逃走予測や逃走心理をも想定した支援機能について提案がなされている。 定期的な地図更新を待たずに、ユーザ側のタイムリーな修正を可能とし、また、習熟度に合わせた検索機能をカスタマイズできるなど状況の変化に柔軟に対応できる提案がなされている。 ・カーロケータシステムにリモートナビ連動機能を設け、事案発生時のパトカー乗務員の業務負担を軽減するとともに、レスポンスタイム短縮に効果を発揮する提案がなされている。 ・地図端末と連動した受理、指令訓練機能のほか、緊急配備訓練機能および地図操作訓練機能の具体的な提案がなされている。

<p>通信指令システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・端末系の性能として、小型軽量化、省スペース化、表示性能、19型液晶SXGAを可動型とし、ユーザの見やすい位置に動かせる構造であるなど、視認性についての提案がなされている。 ・サーバアシスト方式による短時間で効率のよい位置測位や疑似GPS衛星を仮定したビルの谷間や屋内の窓際での位置測位の提案がなされている。 ・反射型液晶(LCOS)パネルにより色の再現領域が広く色純度の高い映像を再現する提案がなされている。
<p>警備部会議室システム</p>	
<p>警備部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、警備部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・端末装置や多機能電話機や録音装置など、必要な情報交換及び対策を機敏に検討できることや、各卓間のスペースを十分に確保すること、システムの拡張や移動機器の設置、十分なメンテナンスエリアの確保などを考慮したレイアウト案が提案されている。 ・管理サーバーのクラスタ構成、RAID構成のハードディスク、縮退運転によりシステムを稼働させたまま保守管理およびデータメンテナンスを行うための提案がなされている。 ・本部庁舎が免震構造であることを十分に認識した上で、サーバやラック、OA機器ごとにその施行方法や施行内容が具体的に提案されている。
<p>要求水準書(警備部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・危険箇所情報、危険物施設、ライフライン施設などの災害基礎資料を目的物と合わせて一元管理できる提案がなされている。 ・Web型GISの採用による操作性の向上、住所検索、タウンページ検索、目的物検索、警察署交番検索など、目的に合わせた多様な検索機能、航空写真と住宅地図の重ね合わせ機能などが提案されている。 ・管理サーバーにおいてシステムを統合監視して障害情報を一元管理したり、障害情報を執務室端末に通知表示するなど、具体的な提案がなされている。
<p>警備部会議室システムを構成する各サブシステムの性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・高性能サーバ Xeon プロセッサの採用やハイパースレッディングテクノロジーの採用により処理効率、処理能力の向上が図られている。 ・制御部、配信部、蓄積部と機能構成を分割することで、高性能画像配信サーバを構築する提案がなされている。 ・反射型液晶(LCOS)パネルにより色の再現領域が広く色純度の高い映像を再現する提案がなされている。
<p>刑事部会議室システム</p>	
<p>刑事部会議室システムにおける業務の効率性、信頼性、運用性、保守性、維持管理性、経済性などのシステム構成に関わる事項を総合的に勘案し、刑事部会議室システム構成の最適化に関する有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システム構成の最適化に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・必要な情報交換及び対策を機敏に検討出来ることや、各卓間のスペースを十分に確保すること、システムの拡張性や移動機器の設置、十分なメンテナンスエリアの確保などを考慮したレイアウト案が提案されている。 ・管理サーバの2重化により、一方が障害の場合でも他方で処理を継続する提案が記載されている。また、DATオートチェンジャーにより重要なデータを高速かつ容易にバックアップ可能な提案がなされている。 ・本部庁舎が免震構造であることを十分に認識した上で、サーバやラック、OA機器ごとにその施行方法や施行内容が具体的に提案されている。

<p>要求水準書(刑事部会議室システム編)に示された各要求機能の実現に関し、具体的な検討を行い有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システムの機能に関して、以下に示す提案について評価できる。 ・ユーザ登録認証、プレビュー表示、書画装置機能、拡声制御等が提案されている。 ・画像サーバの機能について、映像・画像の蓄積、映像を蓄積しながらのリアルタイム配信、追いかけて再生機能が提案されている。
<p>刑事部会議室システムを構成する各機器の性能について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事部会議室システムの性能に関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・映像の蓄積・配信を行うための視点での管理サーバに関する機種選定がなされており、かつ専用リアルタイム OS を採用した信頼性の確保について提案がなされている。 ・反射型液晶(L C O S)パネルにより色の再現領域が広く色純度の高い映像を再現する提案がなされている。 ・赤外線方式のワイヤレスマイクを採用することにより、秘匿性を確保する提案がなされている。
<p>保守管理</p>	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの業務特性に適應した迅速かつ確かな保守対応について、有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保守体制に関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・県警本部まで10分、その他警察署等は平均20分で到着できる提案がされている。 ・報告書は、「障害報告」「原因・対策方」「対策・再発防止」「稼働状況」に分けた報告を行うことが提案されている。 ・年1回の保守点検および年2回の稼働診断や、ハードウェア、ソフトウェアともに点検項目が具体的に提案されている。 ・毎月1回の1回の定例保守打合せを実施し、定期点検で得られた情報を詳細に分析し、システム障害を予測し適切な対策を実施する提案がされている。 ・障害情報などを離れた場所からリアルタイムで把握可能なWEBブラウザ監視とイベントフィルタリングの提案がされている。
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの安定運用に必要な設備改修について、経済性等を考慮した有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備改修に関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・各課や各警察署におけるレイアウト変更時の対応を保守の範囲内で行う提案がなされている。 ・将来のレイアウト変更に対応して、予備のHUBを室内の形状に合わせて複数設置する提案があり、将来のレイアウト変更時に効果的な提案である。
<p>セキュリティ</p>	
<p>通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムとして最適な情報セキュリティ保護方法に関して有効な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティに関して、以下に示す提案について高く評価できる。 ・各端末の操作に対しパスワードにより扱い者の認証を行うことやネットワークへの接続認証を行う事が記載されており、さらにパスワードについては暗号化する提案がなされている。 ・サーバー系装置にウィルス対策のコーポレートエディションを導入し、配下の端末には常時最新のウィルスパターンを配布する提案がなされている。 ・特殊印刷機能により「禁複写」や扱い者などを帳票等に埋め込むことにより、コピーした際に文字を浮き出すことが可能な提案がなされている。
<p>その他</p>	
<p>その他、通信指令システム、警備部会議室システム、刑事部会議室システムの構築に関して有用な提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図サーバの統合化の提案について、具体的な検討がされており、かつ、ネットワークについても具体的に提案されていることから、高く評価できる。